

北部機械金属業界の景況動向

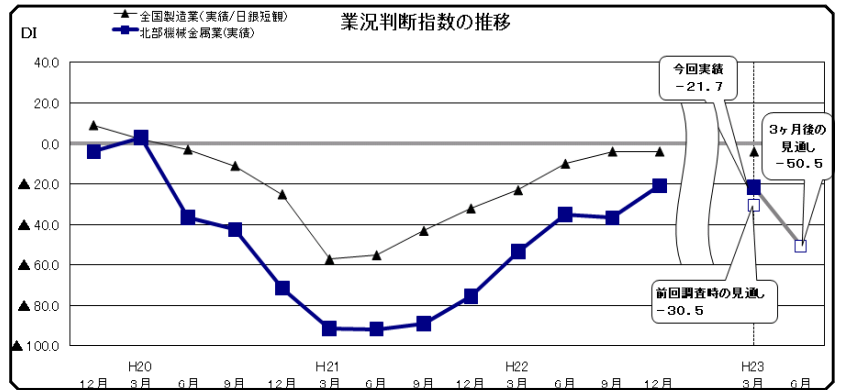
(2011年1～3月実績/2011年4～6月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業287社 【調査時点 平成23年3月下旬】
- 回答数：121社 (内訳は以下のとおり)
 - ①市町別 = 福知山市:22、舞鶴市:11、綾部市:22、宮津市・与謝郡2町:14、京丹後市:52
 - ②取扱別 = 一般機械:55、電気機械:11、輸送機械:23、精密機械:17、その他:14、不詳1
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1～9人:50、10～19人:23、21～49人:25、50～99人:14、100人以上:7、不詳2
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：財団法人京都産業21北部支援センター】

－ 調査結果 －

1 景況動向判断

● 1～3月実績のDI(業況判断指数)は-21.7となり、前回舞鶴市以北の3市2町で行った調査(10～12月分。以下「前回」という)の-20.8より0.9ポイント低下した。地域別では、京丹後市域は-9.6(前回-17.0)と7.4ポイント、舞鶴市域が0.0(同-38.5)と38.5ポイント上昇したが、宮津市・与謝2町域では-35.7(同-18.2)と17.5ポイント低下した。また、新規に調査した福知山市域は-27.3、綾部市域は-47.6と、DIはすべての地域で0以下の値となった。北部地域全体の景況感、3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり、改善傾向にかけりが見えた。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

● 4～6月見通しのDIは-50.5と、前回の-30.5より20.0ポイント下がり、再び悪化を見込んでいる。地域別では、舞鶴市域及び宮津市・与謝2町域で「非常に良い」「良い」とする企業がない。また、すべての地域で「悪い」「非常に悪い」とする企業の割合が半数を超えており、先行きに対し厳しい見通しとなった。東日本大震災により受発注量の減少などの影響も出てきており、自動車業界を中心に今後の予測がつかない事業者も多い。

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	0.8	14.2	48.3	34.2	2.5
福知山市	13.6	45.5	40.9		
舞鶴市	9.1	81.8	9.1		
綾部市	14.3	23.8	52.4	9.5	
宮津・与謝		64.3	28.6	7.1	
京丹後市	19.2	48.1	30.8		

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	6.0	35.9	47.9	9.4	
福知山市	4.6	31.8	50.0	13.6	
舞鶴市		45.4	45.5	9.1	
綾部市	9.5	28.6	47.6	14.3	
宮津・与謝		38.5	61.5		
京丹後市	0.0	38.0	44.0	8.0	

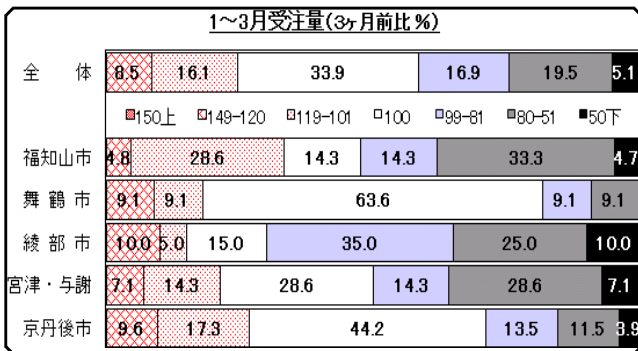
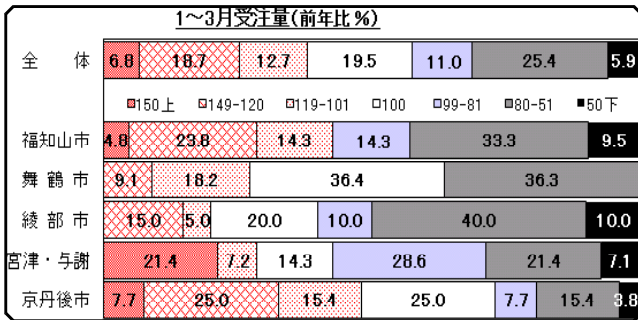
2 採算状況

● 1～3月の採算状況は、黒字とする企業が24.4%(前回22.1%)と増加、赤字とする企業は20.2%(同27.3%)と減少し、平成20年6月期調査以来初めて黒字企業が赤字企業を上回った。

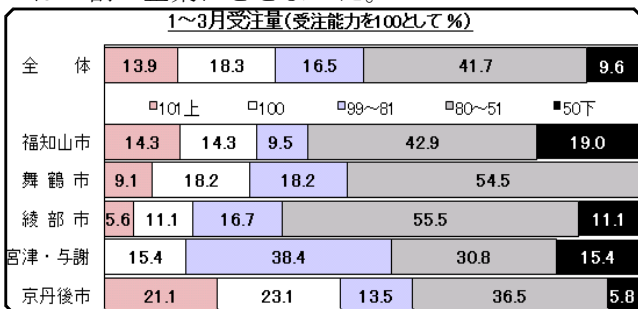
● 地域別では、黒字とする企業の割合が、舞鶴市域で36.4%であるのに対し、宮津市・与謝2町域では7.1%と、地域によってばらつきがある。また、舞鶴市域では赤字とする企業はなかった。

地域	黒字	トントン	赤字
全体	24.4	55.4	20.2
福知山市	22.7	59.1	18.2
舞鶴市	36.4	63.6	
綾部市	9.5	57.2	33.3
宮津・与謝	7.1	78.6	14.3
京丹後市	33.3	45.1	21.6

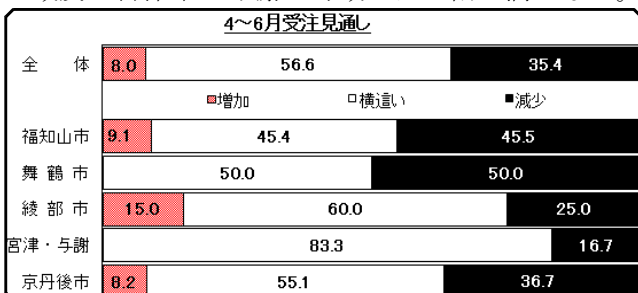
3 受注量



● 1～3月受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は57.7%（前回70.1%）と大幅に減少した。地域別では、京丹後市域で7割以上、舞鶴市域で6割以上の企業が100%以上を確保したものの、それ以外の地域では約4割の企業にとどまった。また、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業も58.5%（同64.9%）と減少した。地域別では、舞鶴市域で8割以上、京丹後市域で7割以上の企業が100%以上を確保した一方、綾部市域では3割の企業にとどまった。

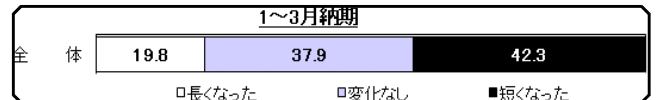


● 受注能力を100とした1～3月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は32.2%（前回26.7%）と増加した。地域別では、京丹後市域では4割を超える企業が100%以上としている一方、綾部市域及び宮津市・与謝2町域では2割に満たない。



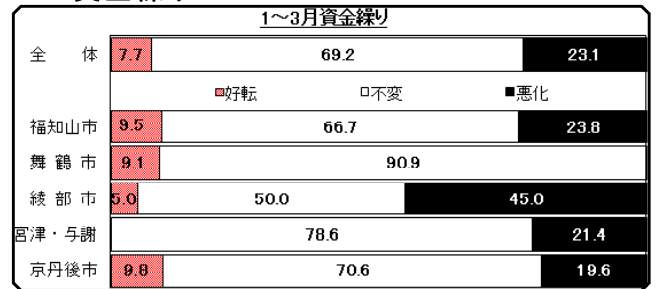
● 4～6月受注見通し（左下図）では、増加を見込む企業の割合は8.0%（前回8.3%）とほぼ横ばいであったが、減少を見込む企業の割合は35.4%（同29.2%）と6.2%増加した。地域別では、増加を見込む企業が、舞鶴市域及び宮津市・与謝2町域で皆無であり、厳しい見通しとなった。

4 受注条件（受注単価／納期）



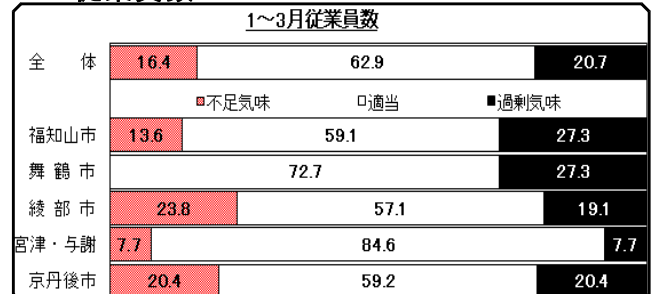
● 受注単価が下落したとする企業は3.4%（前回42.5%）、納期が短縮したとする企業は42.3%（同62.7%）と、いずれも好転した。しかしながら、依然4割以上の企業が納期が短くなったとしており、受注条件は依然として厳しい。

5 資金繰り



● 資金繰りは、好転とした企業が7.7%（前回7.8%）と横ばいであったが、悪化とした企業が23.1%（同19.5%）と増加した。地域別では、宮津市・与謝2町域では好転とした企業は皆無であった一方、舞鶴市域では悪化とした企業がなかった。

6 従業員数



● 従業員数は、不足気味が16.4%（前回12.0%）と増加し、過剰気味が20.7%（同22.7%）と減少している。地域別では、綾部市域では2割を超える企業が不足気味とした一方、舞鶴市域では不足気味とした企業がなかった。